

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2011年09月30日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000048"/>	整理番号 <input type="text" value="11524"/>	担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	<input type="text" value="センチニクバエに対する遺伝子導入法"/>		
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="組換えタンパク質の生産"/>		
目 的	<input type="text" value="センチニクバエは比較的大型のハエで、飼育が容易な上に、約3週間で次世代個体を得ることができるため、生化学的な解析やタンパク質生産に適したモデル動物である。このため所望の形質を有するセンチニクバエを作製する方法の確立が待たれていた。センチニクバエは卵胎生であるため、これまでに他の昆虫で開発された遺伝子導入方法は適用できない。そこで、センチニクバエの胚に目的遺伝子を導入する方法を提供することを目的とした。"/>		
技術概要	<input type="text" value="これまでに確立された昆虫の遺伝子導入法は産卵された卵に対して行われるもので、卵胎生であるセンチニクバエにそのまま適用できない。センチニクバエで遺伝子組換え体を作成するためには、多くの技術的課題の解決が必要である。主なものでは、雌の子宮から発生中の胚を取り出す方法、胚へ遺伝子を導入する方法、胚を体外で発生させる方法などである。本発明者らは、上記課題を解決するため鋭意研究を行った結果、羽化後3日目のセンチニクバエから胚を採取し、胚を体外で発生させることに成功した。さらに、胚に外来遺伝子を導入することにも成功し、その胚を体外で幼虫まで発生させた個体が導入した遺伝子に由来するタンパク質を発現していることを確認した。また体外に取り出した胚を成虫まで発生させることにも成功している。導入遺伝子が次世代の個体に遺伝することを確認できれば、飼料用抗菌ペプチドなど多くのタンパク質生産に応用できると考えられる。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp